

富士山みがきあげ作戦

私たちの手でみがきあげよう富士山
～日本一の山～

説 明 書

ふじさんネットワーク



ふじさんネットワーク

1 概 要

(1) 趣旨

ごみのない富士山を実現するには、第一に「ごみを捨てない・捨てさせない」こと、第二に捨てられた「ごみを拾うこと」である。

「富士山みがきあげ作戦」は、地元の企業、団体等様々な人の参画を得ながら、五合目以下の道路や公園等のごみについて実態を調べ、「ごみを捨てない・捨てさせない」方法を考え、さらに「ごみを拾うこと」により、富士山を裾野からみがきあげ、日本一きれいな山を目指す活動である。

(2) 参加者

ふじさんネットワークの呼びかけに応え、本事業の趣旨に賛同・参画してくれる方々を参加者とする。

なお、ふじさんネットワーク会員であることの有無は問わない。

(3) 対象地域

活動の中心地域は、富士山裾野の4市1町（富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、小山町）内の富士山五合目以下の道路等とし、参加者が自主的に選定、決定するものとする。

なお、富士山を眺めることのできる地域の道路等も対象地域とする。

(4) 活動内容

①ごみの実態調査（「調べる」「考える」⇒ごみを捨てさせない方法の検討）

- ・調べる…どんな場所に、どんな状況で、どんな種類のごみが捨てられているか。
- ・考える…どうしたらごみを減らし、無くしていくか。そこからさらに、考えて、「ごみを捨てさせない方法」を検討する。

② 富士山の撮影

一般的に知られているビューポイントから眺める富士山の姿ではなく、私たちが普段生活している場から眺める富士山として、実態調査活動を行う場所から眺める富士山の姿をデジタルカメラで撮影する。

撮影した富士山の映像に簡単なコメントと撮影場所を付して報告する。

(5) 公表

- ・参加者の取り組みをふじさんネットワークホームページで紹介する。
- ・調査結果をもとに考えた「ごみを捨てさせない方法」を、ふじさんネットワークホームページを活用し、情報発信する。
- ・ごみの状況等のデータを蓄積し、ごみの実態把握の基礎資料とする。

2 事務の流れ

(1) 参加申込・認定

○参加を希望する団体は、別紙1「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、ふじさんネットワーク事務局まで郵送又はファックスにて提出する。

※活動地域や範囲等については、参加者が自主的に選定・決定する。

※現在、会社等で実施している敷地周辺の清掃活動に併せて、富士山みがきあげ作戦を行っても可。

※活動地域の選定にあたっては、事故防止のため、交通量の多い場所等危険な場所は避けること。

○事務局は、提出された「参加申込書」を受け付けた後、「活動資材」、「参加認定書」を担当者あて送付する。

※活動資材とは、作業中の安全確保するための「腕章」及び「のぼり」。

○事務局は傷害保険への加入手続きを行う。（掛金は事務局負担）

※ 保険の概要

掛金 1人31円／1日

死亡 387万円、後遺症 15.4～387万円

入院 4,500円／日（180日限度）

通院 3,000円／日（90日限度）

(2) 活動実施

ごみの実態調査と富士山の撮影。

※作業前、作業中、作業後にわたり安全管理を徹底すること。

(3) 活動報告書の提出と情報発信

○活動終了後、速やかに別紙2「活動報告書」を作成し、事務局まで郵送又はファックスにより提出する。また、あわせて撮影した富士山の映像データを電子メール等により提出する。

○報告内容はふじさんネットワークホームページ等を活用し、情報発信する。

○報告を受けたごみの散乱状況のデータを蓄積し、ごみの実態把握の基礎データとする。

(4) ごみを捨てさせない方法の検討と情報発信

○参加者によりごみを捨てさせない方法を考える。年度の最後に提出する活動報告書と一緒に別紙3「ごみを捨てさせない方法」を提出する。

○事務局は、提案された「ごみを捨てさせない方法」をふじさんネットワークホームページ等により情報発信する。

(別紙 1)

ふじさんネットワーク・富士山みがきあげ作戦参加申込書

令和 年 月 日

ふじさんネットワーク会長 様

団 体 名

代表者名

住 所

次のとおり参加を申込みます。

- 1 参加人数 約 人
- 2 実施日 令和 年 月 日 ()
- 3 活動地域 (具体的に記入する)
- 4 活動内容
- 5 活動資材は、不要 ・ 必要 (腕章 ・ のぼり旗)

(担当者氏名及び連絡先)

氏 名 _____

住 所 _____

電話番号 _____ ファクシ _____

(別紙 2)

ふじさんネットワーク・富士山みがきあげ作戦活動報告書

令和 年 月 日

ふじさんネットワーク会長 様

団 体 名

代表者名

住 所

次のとおり報告します。

1 活動年月日 令和 年 月 日 () 時から 時

2 参 加 人 数 人

3 活 動 地 域

4 調 査 結 果

(1) ゴミの実態調査 (ゴミの種類・概ねの量等を記載する。)

ゴミの種類		数量 (個)
①カン類		
②ビン類		
③ペットボトル類		
④袋類 (コンビニ・スーパー等)		
⑤袋類 (菓子・食品等)		
⑥タバコの吸殻		
⑦その他		

- ・ ごみが多くみられた場所。

- ・ 活動中気がついた点（どのような内容でも可）

(2) 富士山の撮影（どちらかに○をつける）

実 施 （撮影した 1 枚に撮影箇所を記載してメールにて報告する。

メールアドレス info@fujisan-net.gr.jp）

未実施

(報告者氏名及び連絡先)

氏 名 _____

住 所 _____

電話番号 _____ ファクシミリ _____

ゴミを捨てさせない方法

- ◇今年度、最後に提出する活動報告書と併せて報告する。
- ◇どんなことでも可。実態調査をしてみて思ったことを記載する。

(報告者氏名及び連絡先)

氏 名 _____

住 所 _____

電話番号 _____ ファクシミリ _____